

市長室

10月22日記



昨年の大雪を思い出す 季節になりました

ここにきて朝晩の寒さが一段と厳しくなってきました。わずか1カ月前の9月には30℃を超えた日が6日もあったのに、急激な季節の変化に驚かされますが、市民の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年の11月をちよつと思ひ出してください。前半は気温も高く、雪も降らず、今年は暖冬という予報にすっかり乗せられ、昨年同様、雪が少なく暖かい冬ではないかと「のんびり」していたのではないのでしょうか。

それもそのはず、平成22年度の降雪量は、三笠地区で531cm、幾春別地区でも680cmでしたから「のんびり」していたのは当然なことだと思います。

ところが11月14日に初雪が降り、いずれそのうち「雪は無くなるだろう」と思っていました。11月だけで三笠地区の降雪量が136cm、幾春別地区では192cmと初雪がそのまま根雪となり、休みなく降り続きました。

それでも「暖冬」という予報もあり、11月の気温は平年より平均で0.6℃も高かったせいか、月末での積雪量は、三笠地区で7cm、幾春別地区で12cmでしたから、たいしたことはないだろうと多くの人が思ったのは、それほど心配していなかったのではないのでしょうか、実は私もその1人です。

ところが12月に入ると気温はどんどん下がり、連日、雪が降り続きました。1月も、そして2月も、3月もといった具合で、過去の豪雪記録を上回る過酷な年となりました。そのため幹線道路は閉鎖となり、定期バスやスクールバスの運休が始まり、地区によつては生鮮食料の調達ができなくなるなど、市民生活に重大な影響を与えたことは市民の皆さんの記憶にも新しいことでしょう。

市としても除排雪には全力で取り組みましたが、連日続く豪雪のため、ついに自衛隊に災害救助出動を要請し、2回も出動していただきました。また、北海道も道道だけでなく市道の除排雪をしていただくなど、多く

のかたがたの支援をいただいたこの年の冬でした。

さらに深刻だったのは屋根の雪対策でした。特に高齢者など屋根の雪下ろしが困難な方がたについては、民間の企業や各種団体の皆さんによるボランティア活動によってその対策を講じることができました。

しかし、雪下ろしなどをしなかった空き家などは倒壊し、三笠市全体で約80棟に達しました。その後、持ち主が後始末をした家屋もありますが、半数以上が持ち主不明であったり、持ち主が判明していても経済的な理由により整理ができていないままになっていきます。

この問題は道内や東北地方を含め、雪国共通の課題であるため、なんとか法律を整備していただくよう、国の機関などに対し要請しているところです。

ところで、今年の秋は例年より暖かく農作物も豊作であり、農家の皆さんの努力が報われ、ホツとしているところです。しかし、異常気象傾向は依然として続いており、明日あたりから天気荒れるようです。すでに稚内など道北地方や峠からは雪の便りが届いています。これから寒さが一段と厳しくなりますので、風邪などひかぬよう十分に気を付けてください。



【問合先】社会教育課生涯教育係 ☎②3591

コンサドーレ札幌
サッカー教室情報

尾崎主磨くん(中学1年生)

この教室に入ってメンタル面が強くなりました。今後、速いシュートへの反応を高められるようにトレーニングし、みんなから頼られるゴールキーパーになりたいです。



MIKASA FOOTBALL CLUB

高橋拓矢くん(中学1年生)

練習の中で、シュートの練習が楽しいです。練習を通してより正確なシュートが打てるようになりました。今後はどんどん得点が取れる、プレイヤーになりたいです。



MIKASA FOOTBALL CLUB